

協会の組織もさらに飛躍をめざす

2021年度総会が5月27日開催されました。役員改選の年で、新会長に新潟支部の和田澄恵さんが選出され、エシカル消費を活動の柱にと抱負を述べました。記念行事は昨年度に続き中止になりました。

和田新会長のあいさつ



時代と社会にあった活動を

コロナ禍の中、閉塞感が漂う社会で自粛生活を余儀なくされ、消費者の消費行動も大きく変容しています。今年はワクチン接種が始まり、ようやく暗いトンネルに一筋の光が差ししてきたかのようです。ウィルスが地球上からなくなる以上、「科学的根拠に基づいた予防」と人としての言動の基本「自分がされて嫌なことは人にしない」が”常識”である社会を築くことが肝要だと思われます。消費者も商品の外見(ブランドや値段も)だけでなく、製造過程や使用後の環境への影響など、商品を買う責任・使う責任を考えて消費する消費者にならなければいけない時代になっています。

委託事業部が取り組んできたエシカル消費は、これからの時代と社会に必要な消費者の心構えともいえる新しい枠組みです。今後の協会の活動もエシカル消費、SDGsを柱に、時代と社会の要請に応えられるものにしていきたいと考えています。



新役員の紹介

副会長紹介 (敬称略 2ページに顔写真を掲載)

宮尾 隆(新津) 西野伸治(白根) 山田玲子(豊栄)
齋藤和子(巻) 藤原茂昭(新潟 事務局兼任)

新しい生活様式の中で発展を

前会長 山崎和美



5支部の役員の方々、会員の皆様にご協力いただき、無事に会長の任期を終えることができました。専門部がエコライフ部、情報部に委託事業部が加わり3つの部を通して、益々5支部の繋がりが強くなっています。コロナ禍による新しい生活様式という初めての体験を、活動の方向性や方法を見直すいい機会と捉え、今後の発展につながることを期待しています。



「消費者教育教材資料表彰 2021」の優秀賞受賞！ 委託事業部の「エシカル消費ハンドブック」

委託事業部が新潟市消費生活センターの委託事業で作成したエシカル消費ハンドブック「ぼくもわたしもみんなが消費者」が、公益財団法人消費者教育支援センター(東京)の「消費者教育教材資料表彰 2021」(応募件数 51点)で「優秀賞」に選ばれました。

委託事業部は、2018年度からハンドブック作成に2年、教師用の指導案作成に1年かけて取り組んでおり、今年度はさらにハンドブックと指導案を普及させるために学校現場での授業の拡充を図っています

昨年度までのチーフ和田澄恵さんは、「委託事業部の皆さんのチームワークの結果です」と話しています。

※ハンドブックは新潟市消費生活センターのHPに掲載しています。地域の小学校でエシカル消費のモデル授業希望校があれば、委託事業部薄田チーフ 275-0370へ。